

遙かな昔、遠い海の物語——

太平洋の島国の特色と固有文化

太平洋の島嶼国地域は、メラネシア、ポリネシア、ミクロネシアの三つの地域に区分されます。各地域においても、それぞれの歴史を反映した独自の豊かな文化があります。



■ミクロネシア (小さな島々の意・赤道以北)

Micronesia

フィリピン諸島以東、赤道以北の区域で、パラオ共和国、ミクロネシア連邦、ナウル共和国、マーシャル諸島共和国、キリバス共和国(一部)の各国、ほかにアメリカ合衆国の属領であるマリアナ諸島などが含まれます。パンノキ、タロイモ、ヤムイモ、ココヤシの耕作と、礁湖(ラグーン)や沖合いでの漁労で生計を立てています。

この地域は1920年から45年まで、日本の委任統治領だった歴史的背景もあり、日本の言葉や文化が現地文化の中に残っています。また多くの日系人たちが、政治経済の分野のリーダーとして活躍しているのもこの地域の大きな特徴です。



▲ヤップ島の巨大な石貨

ミクロネシア連邦のヤップ島に約800年ほど前から伝わる、石灰岩でできた世界最大のお金。直径30cmから3mまでのものがあり、現在でもいわば骨董貨幣として、不動産の売買やご祝儀などに通貨(米ドル)とあわせて使われています。



■メラネシア Melanesia

(黒い島々の意・赤道以南)

ほぼ日付変更線以西、赤道以南の区域。パプアニューギニア独立国、ソロモン諸島、フィジー諸島共和国、バヌアツ共和国の各国と、フランスの属領であるニューカレドニア島が含まれ、人々はイモの栽培や漁業などによる生活を送っています。

この地域は火山島が多く、熱帯雨林が広がっていることから、鉱物資源や森林資源に恵まれています。また1000近くの言語集団からなる多種多様な文化が存在する一方で、「ワントク」と呼ばれる共同体意識があり、同じ部族出身者同士の団結意識が強いことで有名です。



▲バンジージャンプは収穫を祝う伝統の儀式

バヌアツ共和国のベンテコス島では、年に1度の祭りに若者が脚に巻いた木のつるだけを頼りに高いやぐらの上から飛び降りる儀式が行われます。これを見たニュージーランド人が現在のバンジージャンプを思いつきました。

■ポリネシア Polynesia

(多くの島々の意・赤道以南)

ニュージーランド、ハワイ諸島及びイースター島を結んだ広大な三角形の海域で、その最も西の区域にツバル、サモア独立国、トンガ王国、ニウエ、クック諸島などのPIF諸国があります。タロイモやココヤシに加え、サツマイモを主食とした生活を送っています。

この地域の人々は古くから優れた海洋民として知られており、かつては100人の戦士を乗せることができる大型のカヌーで航海をしたという記録も残っています。また、国王や貴族の間で培われてきた豊かな音楽や芸能が現在も各地で継承されており、日本人にも馴染みのあるハワイのフラダンスはこの代表です。



▲風通しを良くするため壁がない家「ファレ」

サモア独立国の伝統的な住居で、柱と屋根だけで造られ、間仕切りも壁もありません。暑い日差しを避けて涼しい風を入れる、南の島の気候風土ならではの冷房要らずの住居です。